

発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	教科書名
116 日 文	社情 306	社 会 と 情 報 代表著作者 水越敏行

1 編集の基本方針

「高等学校学習指導要領解説 情報編」の「第1章 総説」に示された改訂の趣旨を踏まえ、「社会と情報」教科書においては、特に以下の点に留意しています。

1. 高等学校学習指導要領「情報」の目標のうち、特に「社会と情報」の目標に準拠し、その趣旨・内容を生かした編成としました。また、「情報の科学」及び公民科、数学科をはじめとした他教科、「総合的な学習の時間」との関連にも配慮しています。
2. 義務教育段階における情報教育の成果を踏まえ、生徒の発達段階を考慮した無理のない内容で構成するとともに、学校の実情に則した理論と実習のバランスに配慮しています。
3. 情報科における基礎基本を確実に取り扱うとともに、新しい技術や理論等を積極的に学習内容に取り入れ、教科書の資料性を高めることに努めました。
4. 「情報モラル等」を豊富に扱っています。さまざまな学問分野の知見を活かし、科学的な見方・考え方で情報モラルの重要性を理解できるように工夫しています。
5. 教育基本法の趣旨を尊重し、生涯を通して役立つ幅広い「情報の教養と知識」の習得を目標として、「習得・活用・探究」型のプロセスを意識した編成を採っています。

2 編集上特に留意した点と特色

1. 資料性の高い教科書

- ・基礎基本を確実に取り扱うとともに、積極的に新しい技術や考え方、ソーシャルメディア等のインターネット上のサービスも取り上げ、教科書の資料性を高めました（全般）。
- ・「知的財産権」及び「個人情報とプライバシー」などの内容を厚くし、情報社会の担い手としての「情報社会に参画する態度」を十分に醸成できるよう配慮しました（p.104-117）。
- ・「情報のデジタル化」や「情報通信ネットワークのしくみ」を丁寧に扱っています（p.34-39, 81-91）。中学校までの復習として、1章及び2章末コラムでは「コンピュータの五大機能」や「ソフトウェア」についても触れています（p.54, 98）。
- ・関心の高い生徒のために、3章末に高校生向けの参考図書を掲載しています（p.150）。
- ・巻末資料では、情報検索の具体的なテクニックを示しました（資料 15-16）。また、クラウドコンピューティングなどの新しい内容も色彩豊かに図解しています（資料 17-18）。

2. 生徒の関心を高める導入の工夫

- ・序章には最初の授業で活用できるチェックリストを設けています（p.12-13）。また、情報モ

ラルの導入に使える話し合いの題材も用意しています (p.14-15)。

- ・各章扉のキャラクターのやり取りを通じて、章の学習内容の全体像を伝えます。
- ・終章では、高校生が実際に取り組んだ問題解決の事例を紹介しています (p160-163)。

3．バリエーション豊かな実習，アカデミックスキルズと問題解決

- ・全体の 1/3～1/2 程度を実習に配当することを想定しています。
- ・小さな実習を 32 個用意しました。習得した知識を活用し、内容の理解を深めます。
- ・中規模の実習を想定した「アカデミックスキルズ」を各章末に置きました。アプリケーションの基本的な操作も含め、問題解決に取り組むための「情報活用の実践力」を養います。
- ・3章各節末「視点・論点」は、討議する学習やレポートのテーマとして利用できます。
- ・章末問題を設け、知識の定着をはかれるように配慮しています。
- ・終章の「問題解決」は、従来の日本文教出版「情報」教科書に掲載されていた「総合実習」の理念を引き継ぎました。イメージマップやロジックツリー、MECE など、問題解決で有効に活用できる考え方や具体的なシンキングツールの紹介も豊富です (p.152-159)。

4．教科書の機能を高める細かな仕掛け

- ・側欄に本文中の重要語句の解説を付し、用語の意味をすぐ確認できるようにしています。
- ・他ページへのリンクは Web ページの表現にならない、青字・下線を用いて示しました。

3 教科書の内容構成と学習指導要領との関連

章	節 (配当授業時間数 : 合計 70 時間)	学習指導要領との関連
序章 情報社会とわたしたち	情報革命 / 情報社会について学ぶ意義 / 「社会と情報」の学習に入る前に (計 2 時間)	全般
第 1 章 情報の活用と表現	1 情報とメディアの特徴 (4 時間)	(1)ア
	2 情報の表現と伝達 (6 時間)	(1)ウ
	3 情報のデジタル化 (6 時間)	(1)イ
	・アカデミックスキルズ プレゼンテーション (4 時間)	(4)ウ
第 2 章 情報通信ネットワークとコミュニケーション	1 コミュニケーションとメディア (4 時間)	(2)ア
	2 情報通信ネットワークの活用とコミュニケーション (6 時間)	(2)ウ
	3 情報通信ネットワークのしくみ (6 時間)	(2)イ
	・アカデミックスキルズ 調査の方法 (4 時間)	(4)ウ
第 3 章 望ましい情報社会を構築するために	1 情報化が社会に及ぼす影響と課題 (6 時間)	(3)ア, ウ
	2 情報社会における情報システム (4 時間)	(4)ア
	3 サイバー犯罪とセキュリティ対策 (4 時間)	(3)ア, イ
	4 よりよい情報社会を目指して (4 時間)	(3)ア, (4)イ
	・アカデミックスキルズ レポート (2 時間)	(4)ウ
終章 情報社会と問題解決	問題解決とは何か / 問題解決の実際 / 問題解決の事例 (計 4 時間) ・アカデミックスキルズ 情報発信 (4 時間)	(4)ウ